

「屋内緑花の新時代を拓く特別講演会」 ～インドアガーデニングと植物の健康価値～

主催 全国屋内緑花需要開拓推進協議会

植物の消費低迷と生産の失速 ... そんな言葉が囁かれているが、今なお「いつになれば消費は拡大するのか？」 「横浜国際花博グリーンエキスポ2027の特需は？」 「気候変動による真夏の猛暑、酷暑による先行き不安？」・・・ そんな空気が巷に渦巻いています。

2027年の横浜国際花博後、日本の花・緑産業に求められるものとは…？ 超高齢社会、AI 技術の革新、外国人就労者の拡大などの社会情勢の変化の荒波にどう我々は立ち向かうのか？

一方、企業の健康経営の推進、健康寿命期待が高まる中、植物を通じた環境改善、健康増進の理解浸透が大きな潜在マーケットになり、これを顕在化させ需要拡大を図るにはどうあるべきか、どうするべきかを考える必要があります。

本セミナーは、園芸業界の新時代を生き抜くために、猛暑期間が長くなった現在、屋内で太陽に代わる LED 照明の利用により多彩な植物を楽しむ“インドアガーデニング”のブームを起こすためのテーマで行います。また植物による「環境」、「健康」、「福祉」の3つのキーワードに基づき、各方面の講師の方々から解説・提言して頂きます。

植物生産者、流通業者、レンタル業者、緑花業者、園芸売店等、皆様が参考になる内容で構成しています。この機会を逃さず、ぜひご参加ください。

◆特別講演会

日時： 令和8年2月9（月） 9：30～16：50

会場： エッサム神田ホール2号館 5階 大会議室

(東京都千代田区内神田3-24-5 TEL： 03-3254-8787)

参加方法： 会場参加とZOOMによるオンライン参加の併用（全国各地からの参加）

参加料： 無料（会場参加：先着80名 ZOOMによるオンライン参加：先着300名）

(※ 農林水産省の令和7年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の一環として開催)

全国屋内緑花需要開拓推進協議会は、農林水産省の令和7年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の一環として、令和8年2月5日（木）～11日（水）まで、東京ドームシティプリズムホールで開催される「世界らん展 2026—花と緑の祭典—」に出展し、LED照明を活用した新たな屋内緑花のモデル展示等を実施中ですので、ぜひ併せてご覧ください。

◆講師(50音順) (講師の紹介は、別紙参照1)

飯島健太郎 東京都市大学 環境学部長 教授

伊藤則昭 株式会社グリーバル 特殊緑化推進室長

大林修一 一般社団法人日本インドア・グリーン協会 理事長

株式会社プラネット 代表取締役

豊田正博 兵庫県立大学 客員教授

藤田 茂 一般社団法人屋内緑化推進協議会 副会長

有限会社緑花技研 代表

松本 博 豊橋技術科学大学 名誉教授

◆内容・タイムスケジュール

9:00 ~ 9:30	受 付
9:30 ~ 9:40	開会挨拶 全国屋内緑花需要開拓推進協議会 会長 前田 悟
60分 9:40 ~ 12:00	『 植物及び園芸作業はいかに健康価値が高いか～オフィスワーカー、図書館利用者、高齢者の事例より～ 』 バイオフィリア仮説やや注意回復理論にもとづく植物の効用について、具体的な事例に基づく解説 兵庫県立大学 客員教授 豊田正博
40分	『 バイオフィリックデザインの導入による経済価値とその海外事例 』 植物を導入している、オフィス、病院、高齢者施設、ホテル、商業施設などの海外事例を解説 豊橋技術科学大学 名誉教授 松本 博
40分	『 LED 照明を用いた光環境整備による緑化計画とその事例 』 近年の建築計画における緑化への期待とその技術的課題解決手法として、LED 照明を用いた屋内緑化の事例を解説 株式会社グリーバル 特殊緑化推進室長 伊藤則昭
12:00～12:30	質疑応答
12:30 ~ 13:20	昼食
60分 13:20 ~ 15:00	『 LED 照明の基礎・照明計画、利用の仕方 』 屋内でLED 利用することによって、多彩な植物を育てる事が出来る、その方法を解説 一般社団法人屋内緑化推進協議会 副会長 藤田 茂
40分	『 屋内でLED 照明を利用した植栽事例と植物の空気浄化能力 』 カラーリーフ、開花植物、ハーブ、野菜など多彩な植物を生長、利用できる事例を解説 一般社団法人日本インドア・グリーン協会理事長 大林修一
15:00～15:10	休憩
60分 15:10 ~ 16:10	『 未来社会のグリーンインフラの実装に向けて／「都市緑地」から「インドア・グリーン」まで 』 都市や地域環境の課題解決に切り札としてグリーンインフラの概念が知られるようになった。 防災減災、環境修復、そして健康やストレスマネジメントなど、地域にあった複合的かつ体系的な機能を発揮する緑地環境についての解説 東京都市大学 環境学部長 教授 飯島健太郎
16:10～16:40	質疑応答
16:40～16:50	閉会挨拶 全国屋内緑花需要開拓推進協議会 副会長 小倉敏雄

◆会場案内図

エッサム神田ホール2号館 5階大会議室

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-24-5

TEL : 03-3254-8787

(最寄駅)

JR 神田駅 東口・北口・西口 徒歩2分

JR 秋葉原駅 電気店街口 徒歩12分

東京メトロ銀座線 神田駅 4出口 徒歩2分

東京メトロ丸の内線 淡路町駅A1出口 徒歩5分

東京メトロ丸の内線 淡路町駅A2出口 徒歩5分

都営新宿線 小川町駅A1出口 徒歩5分



◆参加・申し込み方法

令和8年1月26(月)までに、メール (info@niga.or.jp) またはFAX (03-6303-9397) まで
お申し込みをお願い致します。

(問い合わせ先)

全国屋内緑花需要開拓推進協議会事務局

一般社団法人日本インドア・グリーン協会

事務局長 西岸芳雄

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-12 山萬ビル402号

TEL:03-6303-9395 FAX:03-6303-9397

E-mail: info@niga.or.jp [http://: www.niga.or.jp](http://www.niga.or.jp)

E-mail: nishigishi@niga.or.jp

(別紙1)

◆講師の紹介 (50音順)

飯島健太郎 (いいじま けんたろう)

東京都市大学環境学部 学部長・教授、

岐阜県立森林文化アカデミー客員教授

1969年横浜市生まれ。東京農業大学農学部卒業、同大学院農学研究科修了。博士(農学)、

東京農業大学地域環境科学部副手、桐蔭横浜大学工学部・医用工学部専任講師・准教授を経て現職。

専門は造園学、環境植栽学、公衆衛生学。都市緑化用植物の生理・生態、緑地空間のもたらす環境調節
効用、緑地空間のグリーンインフラ機能、植物による人の健康効用に関する研究に携わっている。

横須賀市環境審議会委員、港区環境影響調査審査会委員、横浜市建築物環境配慮評価認証委員会委員、

インドアグリーン協会理事、「中小企業等事業再構築促進事業」に係る審査委員、東日本高速道路(株) 事
業評価監視委員会、高速道路調査会道路・グリーンインフラ部会学識委員、RLA 統括委員会委員など

受賞・表彰：

大日本農会賞(1992年3月)、日本造園学会賞・研究奨励賞(2003年5月)、道路緑化保全協会菊池奨
励賞(2008年5月)、

日本造園学会賞／研究論文部門(2011年5月)、日本アロマ環境協会賞／東鉄工業・JR東日本・桐蔭横
浜大学飯島研究室(2013年1月)、造園大賞(2014年5月)

著書・監修等：

『新しい都市緑化・ガーデニング材料／多肉植物』(1999、ソフトサイエンス社)

『サボテン大好き』(2002、講談社) 『サボテンライフ』(2006、山海堂)

『多肉植物の名前400がよくわかる図鑑』(2015、主婦と生活社)

『サボテン全書』(2018、グラフィック社) 『多肉植物全書』(2019、グラフィック社)

『都市5.0／アバン・デジタルトランスフォーメーションが日本を再興する』(2020、翔泳社、分担執筆)

『キセロフィル サボテン自生地探検記』(2023、グラフィック社)

『グラウンドカバープランツ大全 植栽デザインのための4000種』(2024、グラフィック社)

伊藤則昭 (いとう のりあき)

株式会社グリーバル 特殊緑化推進室長 伊藤則昭

1986年 株式会社日比谷花壇 入社

1990年 横浜ランドマークタワー「ランドマークプラザ」植栽計画・施工

仙台市農業園芸センター「大温室」植栽計画・施工

1999年 群馬県「ぐんま昆虫の森ー生態温室」景観モデル調査・植栽計画

2008年 壁面緑化システム「bio-Wall システム」の企画開発

2010年 花王株式会社和歌山工場「花王エコラボミュージアム」植栽計画・施工

2017年 植栽用LED照明「bio-Light+」開発

「アミュプラザ熊本ー立体庭園」設計協力 (植栽・照明計画)

2021年 「BOSCH 横浜本社」設計協力 (屋内壁面緑化・照明計画)

2022年 特殊緑化推進室 室長として 現在に至る

大林修一 (おおばやし しゅういち) :

株式会社プラネット 有限会社プラネットファーム 社長

株式会社グリーンウインド 社長 (沖縄美ら島財団との共同出資会社)

一般社団法人日本インドア・グリーン協会 理事長

一般社団法人屋内緑化推進協議会 副会長

1958年生まれ愛知県豊橋市出身 施設園芸農家の4代目

学生時代「栄養系繁殖植物の急速増殖法」の研究で2回育種学会で発表。その関連で植物組織培養を実家で始め、1985年つくば科学博覧会のバイオパビリオン“みどり館”で細胞から完成植物までの過程を展示紹介。室内で照明を使った植物栽培に目覚める。

1986年1000坪の hidroカルチャー栽培におけるコンピュータを使った無人管理温室を手掛け、その経験を生かし1992年神戸ハーバーランドの商業施設の9階から12階の空中庭園をコンピュータを使った hidroカルチャー緑化で設計、施工を手掛ける。

2010年頃より、閉鎖系植物工場事業を始める

ハイドロカルチャー農場及び研究・緑化デポ拠点としては、愛知県豊橋市、千葉県柏市柏の葉、沖縄県豊見城市に持つ。植物の効用に関する取組は、バイオフィリア緑化研究所を設立し、「植物による室内空気質を変えることによる知的生産性の向上、人の健康に関する効用等」のテーマで行っている。

著書 「室内・ベランダのガーデニング」(講談社)「おしゃれなインドアグリーン」(主婦と生活社)

共著 「集客のショウガーデン」(講談社) 「最新 農業技術 花卉 vol.」(農文協)

豊田正博 (とよだ まさひろ)

[兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 客員教授

株式会社プラネット バイオフィリア緑化研究所 副所長。

筑波大学農林学類卒業。東京農業大学大学院研究科博士課程修了。

博士(農学)。専門:園芸療法、農福連携(作業分析、障害者への農作業指導)。

商社勤務後、東京都の農業高校教員時代に、文部科学省学習指導要領作成委員として農業系高校生が園芸療法や動物介在療法を学ぶ科目「生物活用」の設置に関わる。

2006年より兵庫県立大学教員となる。2025年3月まで兼務先の淡路景観園芸学校園芸療法課程で250名を超える兵庫県知事認定園芸療法士を養成。

現在、「緑のストレス軽減効果」や「農福連携」関連研究を継続実施中。

農林水産省主催農福連携技術支援者育成研修講師(2020年~現在)。日本園芸療法学会認定上級園芸療法士。日本農福連携学会副会長。

著書:はじめてみよう園芸療法(家の光協会)、ハーブ大全(小学館)、やさしい花作り入門(西東社)、農福連携 人と作業のマッチングハンドブック(兵庫県)など。受賞:2018年 アメリカ園芸療法協会 Charles A. Lewis Excellence in Research Award。

藤田 茂 (ふじた しげる)

有限会社緑花技研 代表

一般社団法人屋内緑花推進協議会 副会長

東京農業大学造園学科1969年卒業、1969年曾田香料(株)で天然香料の研究、生産に携わる。

1971年(株)日比谷アメニスにて造園設計、積算、研究・技術開発に携わる。

1992年(株)エコルに出向と同時に取締役。

2002年緑化に関する技術コンサルタント会社(有限会社緑花技研)を設立。

緑をいかに建築物に取り込むか、緑導入の効果、生育環境、基盤、植物についてコンサルティングを行っている。

日本・中国・韓国・台湾で屋上・壁面・室内緑化の講演を多数行っている。

主な仕事「国土交通省屋上庭園 設計・施工・管理・調査：20年継続」「新潟市民芸術文化会館屋上緑化設計」

主な著書「日本一くわしい屋上・壁面緑化」(エクスナレッジ)「これからの屋内緑化マニュアル」(屋内緑化推進協議会)「ヒートアイランドの事典」(日本ヒートアイランド学会)など。

所属団体：公益財団法人 都市緑化機構・環境緑化技術共同研究会委員長、NPO 法人ガーデンを考える会副会長、ヒートアイランド学会理事、一般社団法人屋内緑化推進協議会副会長、一般社団法人 地域緑花技術普及協会、道デザイン研究会 (国土交通省道路局)

松本 博 (まつもと ひろし)

豊橋技術科学大学名誉教授 (工学博士)

株式会社) プラネット・バイオフィリア緑化研究所・所長

1951年富山県生まれ。東北大学大学院工学研究科建築学専攻博士前期修了。工学博士。同助手を経て、1988年豊橋技術科学大学・建設工学系講師、2005年同教授、2017年同退職(豊橋技術科学大学名誉教授)、2021年株式会社プラネット入社、2023年同バイオフィリア緑化研究所所長。

専門分野は建築環境工学(熱空気環境の予測・制御・評価ほか)。2000年頃から株式会社プラネットとデシケータ試験による「観葉植物の調湿効果・空気浄化性能評価」に関する共同研究を開始し、観葉植物の高いVOC除去性能を明らかにした。その後、ラージチャンバーを用いた「ワークプレイスにおける観葉植物がワーカーの心理・生理・プロダクティビティに与える影響」などに関する被験者実験を行い、植物の緑被率の違いが被験者の印象評価やプロダクティビティなどに与える影響を明らかにした。更に「実オフィスにおける室内緑化がワーカーの心理・生理・印象評価などに及ぼす影響」に関するフィールド調査研究を行い、有用な知見を得ている。

主な論文は、「オフィス空間への植物設置によるメンタルヘルスケア効果に関する実証研究、日本建築学会環境系論文集 第83巻 第743号, 1-10, 2018」, 「土壌通気を活用した植物空気浄化システムの開発と検証、日本建築学会環境系論文集 第89巻 第822号, 479-484, 2024」など多数。

＜全国屋内緑花需要開拓推進協議会の世界らん展2026の出展計画＞

全国屋内緑花需要開拓推進協議会は、農林水産省の令和7年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の一環として、令和8年2月5日（木）～11日（水）まで、東京ドームシティプリズムホールで開催される「世界らん展 2026ー花と緑の祭典ー」に2ブース出展し、LED照明を活用した新たな屋内緑花のモデル展示等を実施する。



世界らん展 2026

花と緑の祭典

JGP International Orchid and Flower Show 2026

2026 2.5^{THU} - 2.11^{WED}
東京ドームシティプリズムホール

＜開催時間＞

5日（木）10:00～18:00（9:00-10:00 先行入場）	9日（月）10:00～18:00
6日（金）10:00～20:00（9:30-10:00 先行入場）	10日（火）10:00～20:00
7日（土）・8日（日）10:00～18:00（9:30-10:00 先行入場）	11日（水・祝）10:00～18:00